

目的

離職した看護職が身近な地域で復職支援研修・再就業支援相談等を受けられる就業支援の仕組みを整備することで、潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図る。

事業概要

東京都看護職員地域就業支援病院、都内研修実施施設、都立看護専門学校において、多様な復職支援研修を実施する。

(1) 手厚くしっかり体験コース

改

研修場所

東京都看護職員地域就業支援病院
※地域の看護職員確保対策の拠点(26病院)を東京都が指定。

特徴

- 就業協力員が、病院が実施する研修の企画等に関する支援を行う。
- 1、5、7日コースの研修において、講義・手技演習・病棟実習等を実施。
- 綿密な計画に基づいた研修において必要な知識や技術を修得することができるため、スムーズな復職に繋がる。

主な対象者

- すぐにも復職したい方
- 最新の看護技術を現場で体験してから復職したい方

実施形態

東京都看護協会(ナースプラザ)に委託して実施。
病院への再委託により、研修等に係る委託料支払。

(2) 気軽にさくっと体験コース

新

研修場所

都内研修実施施設
※独自に研修を実施する都内施設

特徴

- 独自に実施する施設の研修をナースプラザが一括広報を行う。
- 研修内容等について、適宜就業協力員が助言を行う。
- 都内各地域で研修を実施するため、研修生にとってより身近な復職研修を受講することが可能になる。

主な対象者

- 復職に向けて、少しずつ準備をしたいと考えている方
- まずは身近な施設で、現場の雰囲気を感じたい方

実施形態

東京都看護協会(ナースプラザ)に委託して実施。
受入実績に応じて、謝金及び参加者の保険にかかる費用を支払。

(3) 学校に戻って体験コース

新

研修場所

都立看護専門学校

特徴

- 都立看護専門学校に配置されている模擬病棟や実習室等で、地元の潜在看護職や卒業生に向けた研修を行う。
- 看護学生が実習に用いる機器等が豊富にあるため、じっくりと技術を再習得することができる。
- 現役の看護教員により、最新の看護の動向等を学ぶことができる。

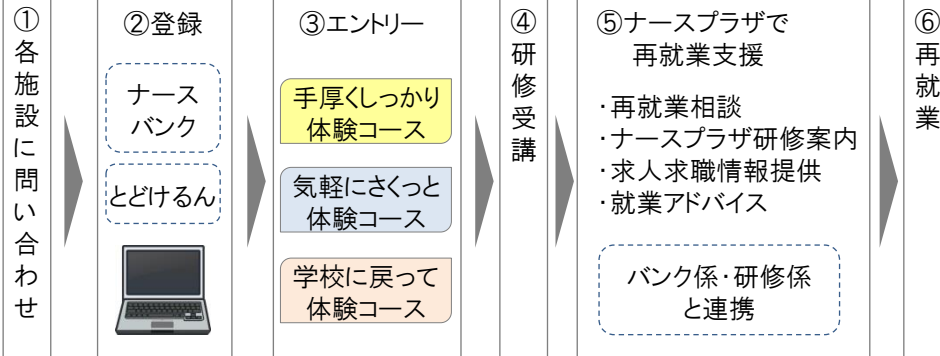
主な対象者

- トレーニングモデル等を用いて、基礎的なところから、看護技術を学び直したい方

実施形態

都立看護専門学校の運営費にて実施。
就業協力員が研修の企画運営や広報等を支援。

再就業までの流れ



東京都就業協力員の役割

【本部協力員】
(東京都ナースプラザに設置)

- ① 支援病院が実施する復職支援研修の企画等に関する支援
- ② 再就業を希望する看護職に対する再就業支援相談の実施、求人求職情報の提供及び就業に関するアドバイス
- ③ 地域の看護職員及び医療施設からの相談に対する助言及び情報提供
- ④ バンク係・研修係との連携

【支援病院協力員】
(地域就業支援病院に設置)

- ① 復職支援研修の実施、受講者への研修指導（講義、手技演習、病棟実習等）
- ② 本部協力員と連携し、復職支援研修受講者への再就業支援相談の実施
- ③ 本部協力員及びナースプラザと連携し、地域の求人求職に関する情報収集
- ④ 地域の看護職員及び医療施設からの相談に対する助言及び情報提供

看護職員地域就業支援病院について

地域の看護職員確保対策の拠点として、東京都が26病院（一般病院24病院、専門病院2病院）を指定

【活動内容】①「看護師等就業協力員（支援病院協力員）」の設置（都が病院の看護部長等に就任を委嘱）

- ② 再就業希望者の有する経験、知識、技術や就業を希望する時期等、個々の特性や事情に応じた復職支援研修の実施
- ③ 復職支援研修受講者に対する再就業支援相談の実施

研修内容

支援病院研修コース（標準・助産師）

再就業希望者の有する看護等の経験、知識、技術や就業希望時期等に応じた復職支援研修を実施（別紙「標準プログラム」を基本とする）

★1日コース（看護の魅力再発見講座）

病院の実情に応じた「医療・看護の動向等」（講義）、オリエンテーション・病棟見学等

★5日コース（復職に向けた病院実習基礎編）

1日間コースの内容に加え、手技演習を中心とした研修及び病棟実習

★7日コース（復職に向けた病院実習実践編）

5日間コースの内容に加え、より実践的な研修とするため、病棟実習を実施
助産業務の研修実施が可能な施設は、助産師対象の研修を実施

種別	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
1日コース 看護の魅力再発見講座	オリエンテーション・病棟見学 「医療・看護の動向」等の講義 再就業相談	再就業相談						
5日コース 復職に向けた病院実習基礎編			手技演習 (模型使用) (例) ・採血 ・輸液 ・静脈注射 ・体位変換 ・薬の知識	病棟実習 (例) ・環境整備 ・体位変換 ・移乗、移送 ・口腔ケア ・食事援助 ・排泄介助 ・カンファレンス	再就業相談			
7日コース 復職に向けた病院実習実践編					標準⇒病棟実習 助産師⇒褥婦、新生児、分娩時ケア等	再就業相談		

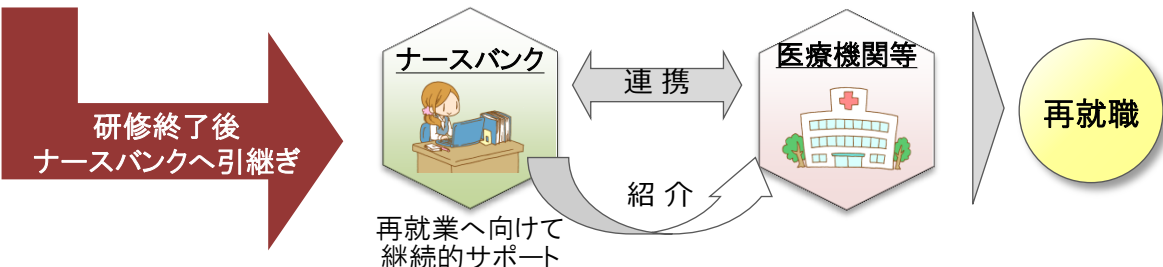
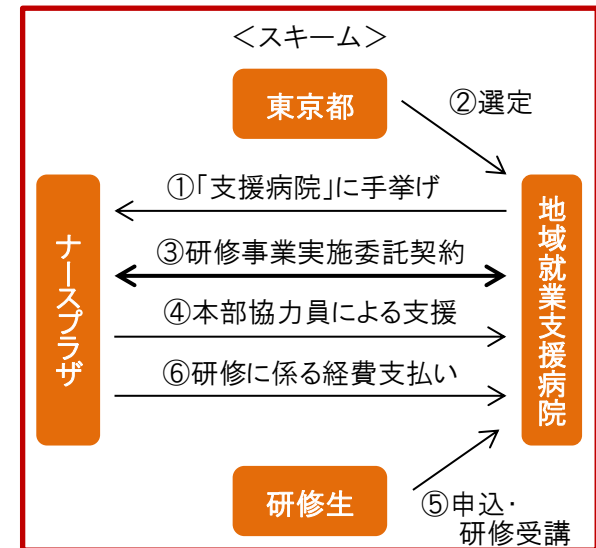
訪問看護ステーション、その他施設研修コース

○支援病院研修受講後（1日、5日、7日コースのいずれか）、希望者は、訪問看護ステーションまたはその他施設（両方も可能）において最大5日間の実習が可能。

○初日はオリエンテーション、施設見学、基礎知識の講義や実習等を中心に実施。

2日目以降は、マンツーマン指導（原則）で在宅療養者や施設利用者等に対する看護実習を行う。

※その他施設：老人保健施設、障害者施設、特別養護老人ホーム等の福祉施設、診療所等



都内研修実施施設について

都内で独自に看護職員確保のための研修に取り組んでいる施設

【活動内容】施設独自の復職支援研修の実施（1～3日程度）

【対象施設】看護職を対象とした研修を実施していれば、医療施設や介護施設等施設種別は問わない。

【規模】3施設×12医療圏=36施設程度

研修内容

- 看護職として働いていない者を対象とした研修を実施していること。（既に当該施設への就職が決まっている者に対する研修は対象外）
- 1日あたりの研修時間は4時間以上とすること。
- ①最近の医療・看護の動向、②医療安全、③感染管理に関する研修を組み込むこと。
- 病院見学を行うこと。

ナースプラザによる広報協力

- 「手厚くしっかり体験コース」等と合わせた広報を実施
- ポスターやリーフレット等の作成、配布 等

謝金等の支払

- 施設受入謝礼：38000円/回 ※謝金の支払は1施設あたり2回/年を上限とする
- 保険料：1,600円/人/回 ※保険料の支払は1回あたり4人を上限とする

